

● バスの日記念イベントとは

日本で最初にバスが走った日(9/20)を「バスの日」としており、令和4年より年に1回路線バスへの利用促進や親しみを持ってもらうための取組として、市民に向けたバスに関するイベントを開催している。

1 目的

自動運転バスの試乗時期に合わせ11月に親子向けの自動運転バスツアーを開催。子どもには自動運転バスの乗車やバスかるとの体験を通じ、バスに対する親しみを持っていただき、また、保護者には自動運転バスに対する考え、意向についてアンケート調査を行い、子育て世代の社会受容性醸成の課題を把握する。

2 開催日時

令和7年11月3日(月)
1部:09:30-11:40 2部:13:30-15:40

4 参加者数

14組
※申し込み数
18組(当日体調不良により4組キャンセル)

3 実施内容

- (1)自動運転バス実証実験の説明
- (2)自動運転バス試乗
- (3)バスかるとの体験
- (4)保護者向けアンケート及びヒアリング

5 協力

実施協力(敬称略)
・公立千歳科学技術大学小林研究室
・A-Drive
・NTTドコモビジネス
・アイサンテクノロジー
・日本テータサービス

アンケートの概要

バスの日イベントに参加された保護者に対し、自動運転バスが社会の中でどのように受け入れられるか調べる事を目的とし、アンケートを実施。

4 アンケート回答者

- (1) 平均年齢37.2歳
- (2) 男性8名、女性6名
- (3) 利用頻度等(一部抜粋)
 - ・毎日:1名 ・週に1回:1名 ・月1回:1名
 - ・体験前に自動運転バスを見たことがある 6名
 - ・体験前に自動運転バスに乗ったことがある 3名

5 アンケート結果/参加者の声(一部抜粋)

(1) 車内カメラによるプライバシー

| とても守られている | 守られている | どちらでもない | 守られていない | まったく守られていない |
|-----------|--------|---------|---------|-------------|
| 0 | 5 | 8 | 1 | 0 |

- ・安全性確保の点では必要
- ・車内の安全管理方法が気になる
- ・映像の利用範囲による
- ・子供でも安全に利用可能なアナウンスが必要

(2) 子供への自動運転バスの乗り方などの教育機会の必要性

| とてもそう思う | そう思う | どちらでもない | そう思わない | まったくそう思わない |
|---------|------|---------|--------|------------|
| 9 | 4 | 1 | 0 | 0 |

- ・自動運転バスに関しては、大人でも教えずらいから
- ・子供にも大人にも慣れてもらいたい
- ・学校の授業や体験会を開催して欲しい

(3) その他自由意見

- ・外から見ると怖く感じるが、車内は安全だった。
- ・最終的には人の手が加わらなくても済むようにしてほしい。
- ・免許がない人でも運転できるようにしてほしい。
- ・車内の監視が心配。運転手が居なくなると、車内の安全管理がすごく気になる。
- ・エレベーターの非常ボタンのような困ったときに相談できるシステムが車内にあると良いのでは。

● イベント参加者からの声

- ・イベントに参加することで、公共交通への理解が深まった
- ・自動運転がどのように運行されているのかについて理解が深まった。
- ・バスかるたで遊ぶことで、こどもがバスに興味を持ってくれた。 など

— 当日の様子 —

① 事前説明



② バス乗車



③ バス車内



④ バス車外説明



⑤ バスかるた



⑥ アンケート調査

